

既存素材の魅力的な活用方法

自主防災組織等のリーダー育成研修

避難所の運営を円滑に進めるには

避難所開設・運営の流れと
発生する課題

1. 災害時にとるべき行動

災害発生前後にとるべき行動(主に自助・共助)



地震の発生

自助

身の安全の確保・避難

【住民等が取るべき行動】

- ・身を守る行動、火の始末、自宅の初期消火、家族の安否確認

建物倒壊・火災の発生等

このスライドをアレンジ!

共助

被害確認・被害情報の収集・
消火・救出・救護など

・安全第一

- ・避難場所等への避難
- ・避難行動要支援者の避難支援等
- ・避難時にはブレーカーを切る、ガスを止める



共助

避難誘導・避難支援・
二次被害の防止など

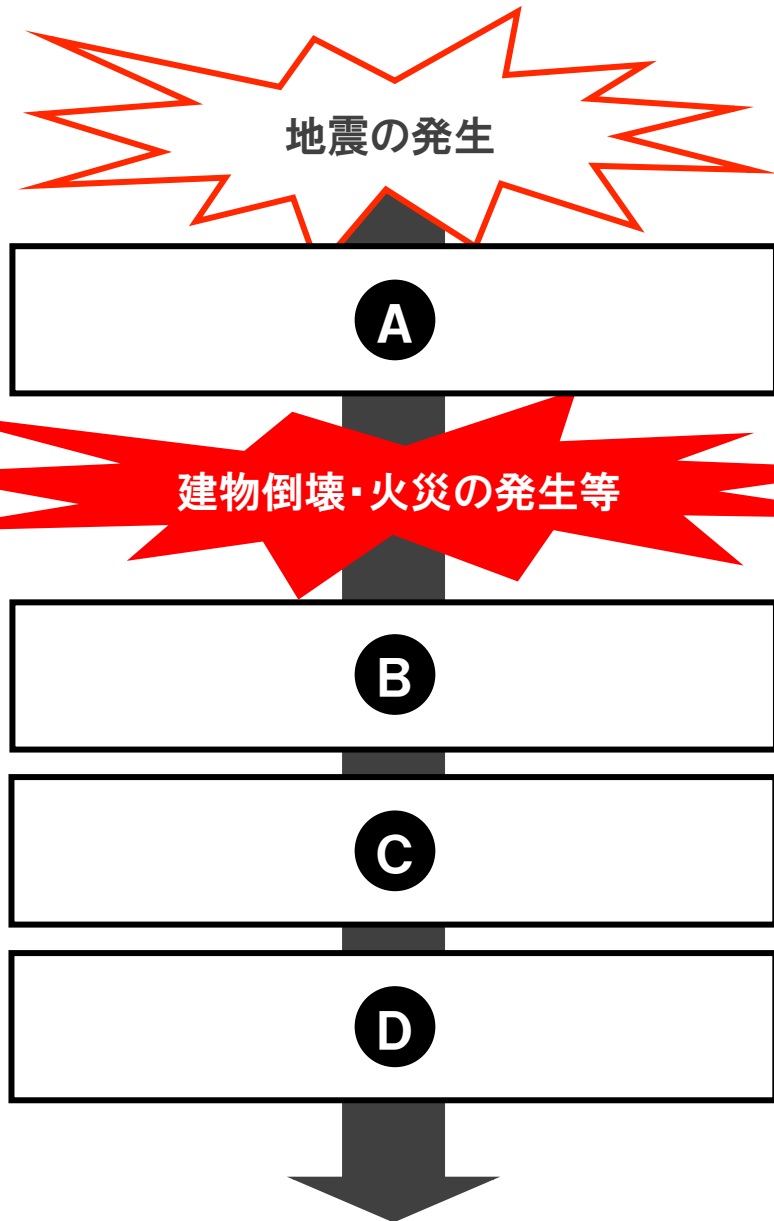
共助

指定避難所での避難生活・
在宅避難者支援

公助

- ・避難生活が長期化する場合、指定避難所の運営
- ・在宅避難者で食料や救援物資等の支援が必要な方への支援

災害発生前後にとるべき行動(主に自助・共助)



問題

左の図の①～④に入るのはどれか？以下のA～Dから選んでください。

1

共助 避難誘導・避難支援・二次被害の防止など

2

自助 身の安全の確保・避難

3

共助
公助 指定避難所での避難生活・在宅避難者支援

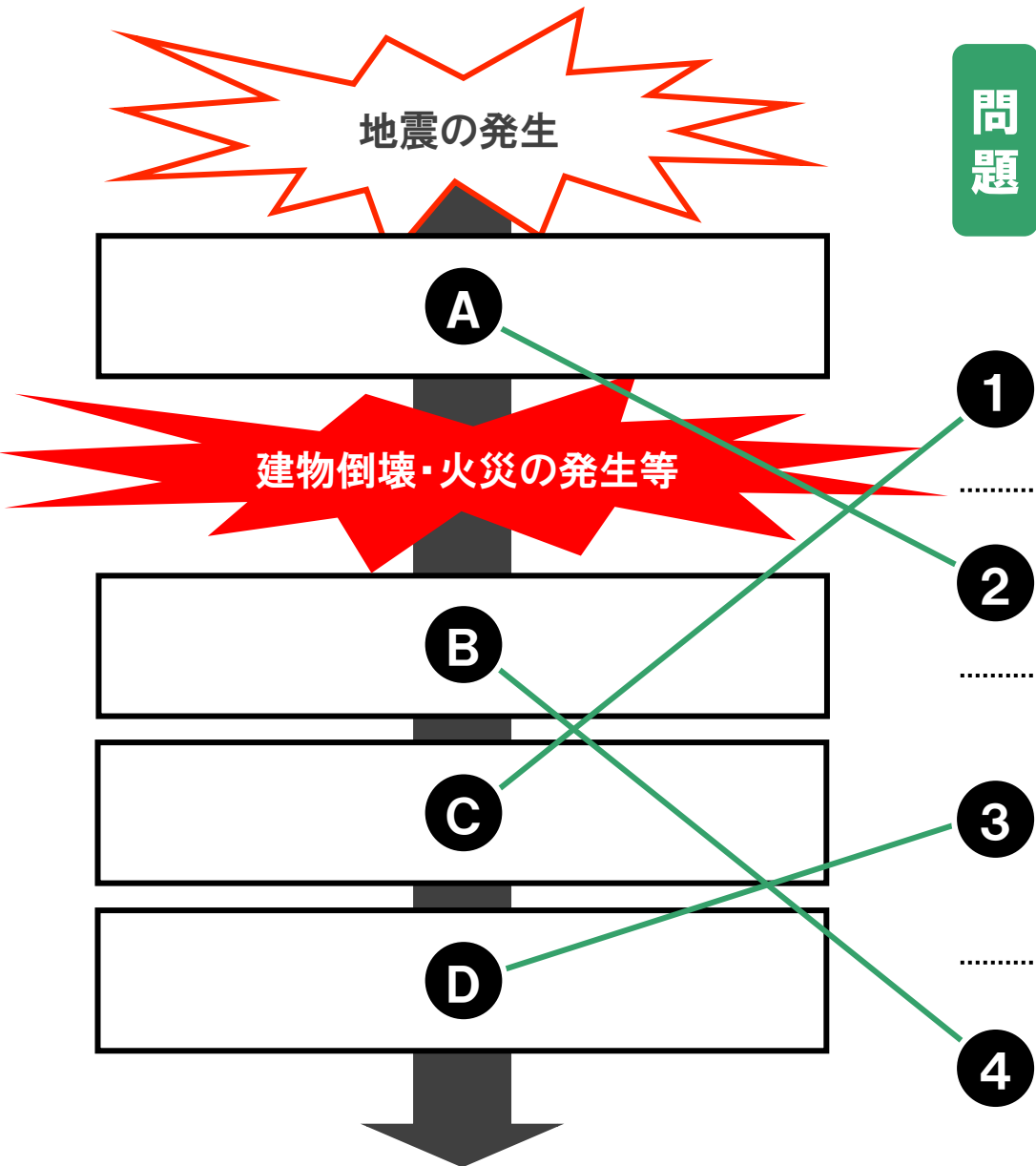
4

共助 安否確認・被害情報の収集・消火・救出・救護など

災害発生前後にとるべき行動(主に自助・共助)

問題

左の図の①～④に入るのはどれか？以下のA～Dから選んでください。



共助 避難誘導・避難支援・二次被害の防止など

自助 身の安全の確保・避難

共助
公助 指定避難所での避難生活・在宅避難者支援

共助 安否確認・被害情報の収集・消火・救出・救護など

災害発生前後にとるべき行動(主に自助・共助)



地震の発生

自助

身の安全の確保・避難

【住民等が取るべき行動】

- ・身を守る行動、火の始末、自宅の初期消火、家族の安否確認

建物倒壊・火災の発生等

共助

安否確認・被害情報の収集・
消火・救出・救護など

・安全第一

共助

避難誘導・避難支援・
二次被害の防止など

- ・避難場所等への避難
- ・避難行動要支援者の避難支援等
- ・避難時にはブレーカーを切る、ガスを止める

共助

指定避難所での避難生活・
在宅避難者支援

公助

- ・避難生活が長期化する場合、指定避難所の運営
- ・在宅避難者で食料や救援物資等の支援が必要な方への支援



避難をする場所について

「避難所」と「避難場所」の役割の違いを理解しましょう

指定緊急避難場所

「火災が迫っている」、「建物が倒壊しそう」といった状況のとき、いのちを守るために一時的に避難する安全な場所

このスライドをアレンジ！

大地震の揺れ等で自宅が倒壊・焼失等をしてしまい、生活する場所がなくなってしまった方が、一定期間の生活を送る施設のこと

なお、避難者の状況によっては福祉避難所に移送することがある

※福祉避難所

指定避難所では避難生活が困難な、高齢者や障害者、妊婦など、災害時に援護が必要な人たち(要援護者)に配慮した市町村指定の避難施設。福祉避難所は必要に応じて開設される(はじめから福祉避難所が指定避難所として開設されるのではない)。

「避難所」と「避難場所」は違います

知っている人は

どのくらいいらっしゃいますか？

※手を挙げて教えてください。

問題

「避難所」と「避難場所」は違います
何が違うか、知っていますか？

答え

避難所

(指定避難所／福祉避難所)

一定期間
生活する場所

避難場所

(指定緊急避難場所)

一時的に
避難する場所

避難をする場所について

「避難所」と「避難場所」の役割の違いを理解しましょう

指定緊急避難場所

「火災が迫っている」、「建物が倒壊しそう」といった状況のとき、いのちを守るために一時的に避難する安全な場所のこと

指定避難所

大地震の揺れ等で自宅が倒壊・焼失等をしてしまい、生活する場所がなくなってしまった方が、一定期間の生活を送る施設のこと

なお、避難者の状況によっては福祉避難所に移送することがある

※福祉避難所

指定避難所では避難生活が困難な、高齢者や障害者、妊婦など、災害時に援護が必要な人たち(要援護者)に配慮した市町村指定の避難施設。福祉避難所は必要に応じて開設される(はじめから福祉避難所が指定避難所として開設されるのではない)。

2. 避難所の開設・運営

○避難所運営の担い手

避難所生活の「質の向上」のため、自主防災組織等が中心となり、市区町村と協力して運営を行いましょよう

過去の災害では、自治体職員が避難所対応で手一杯になり、他の災害対応業務の実施に支障が生じた

●自主防災組織等
このスライドをアレンジ！
このスライドが期待され
（各業務の主担当、女性の参画が重要）

●市区町村からの派遣職員

災害対策本部との情報収集・伝達
ボランティアの調整

●避難者

避難所運営への自主的な協力

●施設管理者

施設管理・維持



○避難所運営の担い手

問題

避難所運営の担い手のうち、
中心となるべき人は、
次の①～④のうち誰でしょう？

- ① 自主防災組織等
- ② 市区町村からの派遣職員
- ③ 避難者
- ④ 施設管理者



ヒント

過去の災害では、自治体職員が避難所対応で手一杯になり、他の災害対応業務の実施に支障が生じた

○避難所運営の担い手

答え

① 自主防災組織等

中心は自主防災組織ですが、避難者も積極的に巻き込むようにしましょう。



○避難所運営の担い手

避難所生活の「質の向上」のため、自主防災組織等が中心となり、市区町村と協力して運営を行いましょよう

過去の災害では、自治体職員が避難所対応で手一杯になり、他の災害対応業務の実施に支障が生じた

●自主防災組織等

避難所運営の中心的役割を担うことが期待されている(各業務の主担当、女性の参画が重要)

●市区町村からの派遣職員

災害対策本部との情報収集・伝達
ボランティアの調整

●避難者

避難所運営への自主的な協力

●施設管理者

施設管理・維持



○避難所運営の担い手

避難所の自主運営のてびき(案)

～ みんなで協力して、より良い避難所環境にしましょう! ～

※各避難所の自主運営を検討していく際、参考にしてください。
具体的な内容は、各避難所の状況に合わせて自由に設定してください。

自主運営の方法

はじめに

- 避難所の住環境は、皆さんが役割を分担し、ルールを守って維持していきましょう。
- 気づいたことは貼り紙をするなど、情報を共有しましょう。

運営体制をつくる!

- ① 代表者(人数が多い避難所は副代表も)を決めます。(うち1名以上は女性)
- ② 総務班、施設管理班、食料・物資班、衛生班をつくり、各班の班長を決めます。
食料や物資の搬入・配付は各班が責任を持って行います。
- ③ 代表者と各班の班長で運営委員会をつくります。
毎日20時(または「夕食後」など、委員の都合によって決めてください。)に委員会を開催します。その際、課題や留意事項について各班長から報告し協議
④ 世帯ごとにいずれかの班に属してください。
ただし、介護や支援が必要な方がいる世帯は、相談の上、免除してもかまいません。
- ⑤ 班は定期的に交代することとしてください。

--- [運営委員会] ---

<p>代表者</p> <p>副代表者</p> <p>総務班長</p> <p>施設管理班長</p> <p>食料・物資班長</p> <p>衛生班長</p>	<p>→</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【毎日〇時に委員会を開催し課題や留意事項を協議】</p> </div> <p>総務班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部への連絡・報告 ・ラジオ放送の管理 ・ボランティア等の支援要請のとりまとめ <p>施設管理班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者名簿の作成・管理 ・避難所内の防火・防犯対策 ・避難所の清掃活動 <p>食料・物資班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料・物資の調達 ・食料・物資の管理 ・食料・物資の配付 <p>衛生班</p>
---	----------	---

避難所運営にあたっては、仕事をしている人も含め、**避難者全員に一定の役割を持ってもらうことが重要**で、炊事や清掃などの役割分担が、一部の住民だけに負担が偏ることがないように、定期的に避難者全体で話し合いを行うなどして、無理なく継続的に続けられる仕組みづくりが必要

■■市の避難所開設の準備

避難所となる施設を開錠した後に、安全点検を行い、使用可能な場合は、避難所として開設されます

赤字・赤枠箇所(2箇所)について、研修を行う地域の情報に置き換えて下さい。

- ・ 市区町村職員・施設管理者が開錠の担当者となる
(日中・夜間それぞれの担当が必要)
- ・ この時点で避難者は受け入れず、まずは避難所が使えるかどうか判断する

施設の安全性の確認

- ・ 施設の構造被害・内部被害の目視確認を行い、危険箇所は「立入禁止」「危険・さわるな」といった掲示や、トラロープ・カラーコーンといったものも活用して立入禁止を明示する

【確認箇所の例】

建物周辺(火災、地すべり等)、構造被害(傾斜、柱や床、壁等)、内部被害(天井・窓ガラス・散乱物等)

市の避難所開設の準備

全国にはチェックリストを用いて自主防災組織等で安全確認を行えるよう訓練に取り組んでいる地域もあります

研修を行う地域で、安全確認のチェックリストや項目が決まっている場合は、その地域の情報に置き換えて下さい。

1. 避難所の開設		
避難者による自主開設	・建物内にいる避難者をまとめ、建物の安全確認をする	<input type="checkbox"/>
2. 建物の安全確認	・建物は傾いていない	<input type="checkbox"/>
	・火事は発生していないか、ガス漏れはないか	<input type="checkbox"/>
	・建物に大きなひび割れはないか	<input type="checkbox"/>
	・窓ガラスなどの危険な落下物はないか	<input type="checkbox"/>
3. 避難所管理責任者等	・避難所管理責任者が到着したか	<input type="checkbox"/>
	・施設管理者が到着したか	<input type="checkbox"/>
4. 避難者受入れスペースの確保・指定	・事前計画に基づき安全な部屋を確保し、誘導する。	<input type="checkbox"/>
	・室内の倒壊物などは、避難者に協力を求めて処理する。	<input type="checkbox"/>
5. 避難所の本部を設置	・施設管理者と共に、業務場所の安全確認	<input type="checkbox"/>
	・放送設備、非常用設備などの確認	<input type="checkbox"/>
6. ライフラインの確認		
	・電気が使えるか	<input type="checkbox"/>
	・放送設備が使用できるか	<input type="checkbox"/>
	・無線が使用できるか	<input type="checkbox"/>
	・上水道が使えるか	<input type="checkbox"/>
	・電話が使えるか	<input type="checkbox"/>
	・FAXが使えるか	<input type="checkbox"/>
7. 非常用設備及び物資の確認	・水、食料、生活物資のは備蓄されているか。	<input type="checkbox"/>
本部への要請事項の整理	・応援職員は必要か	<input type="checkbox"/>

参考：東京都「避難所開設チェックリスト」より引用

大規模災害時の避難所状況



このスライドをアレンジ！



2011年(平成23年)3月11日

写真:国土交通省「震災伝承館」



事例3)平成28年熊本地震(夜)
2016年(平成28年)4月14日以降

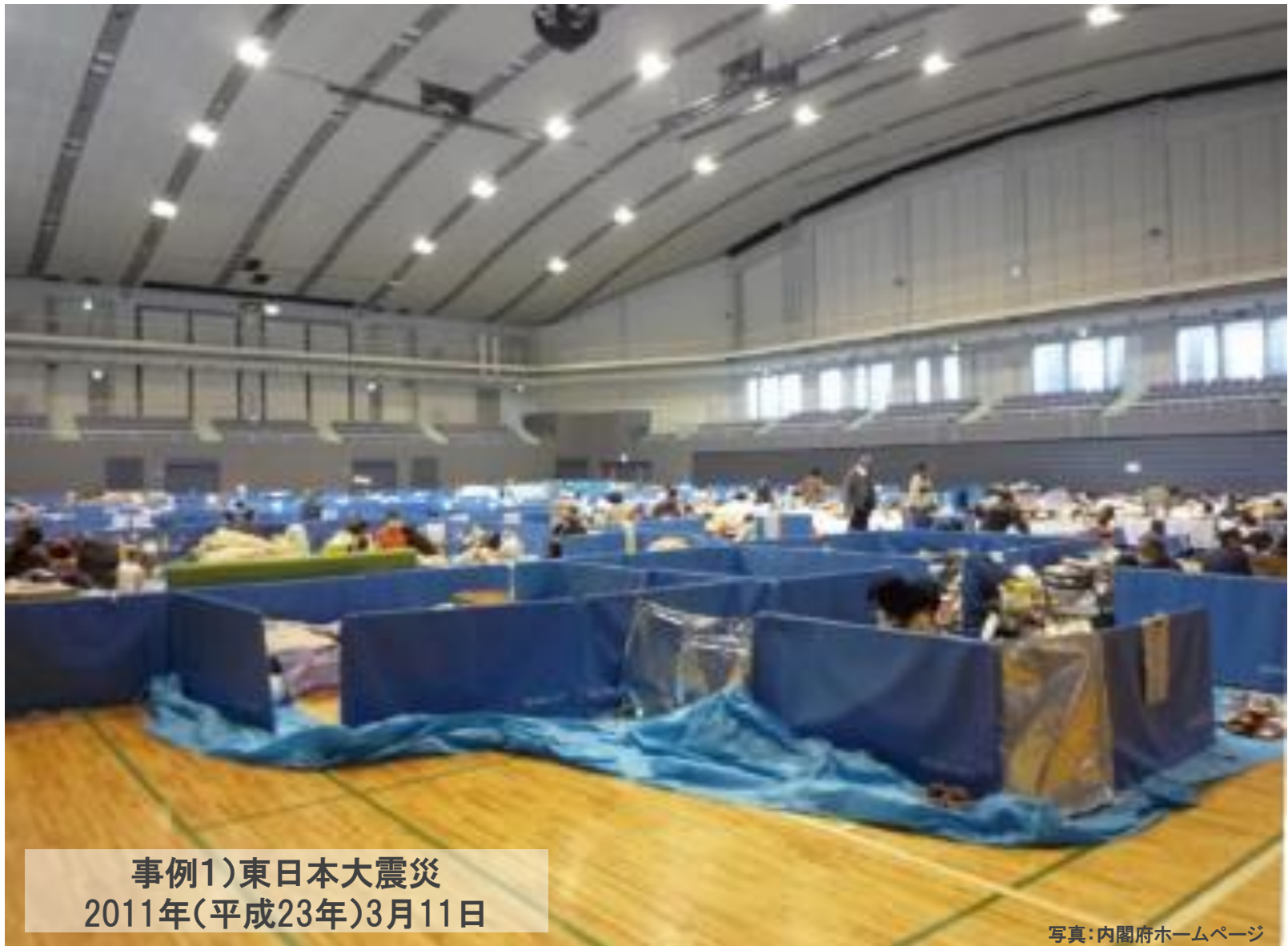
写真:内閣府「熊本地震保健士派遣記録」



事例4)平成28年熊本地震(昼)
2016年(平成28年)4月14日以降

写真:内閣府「熊本地震保健士派遣記録」

大規模災害時の避難所状況



事例1)東日本大震災
2011年(平成23年)3月11日

写真:内閣府ホームページ

大規模災害時の避難所状況



事例2)東日本大震災
2011年(平成23年)3月11日

大規模災害時の避難所状況



事例3)平成28年熊本地震(夜)
2016年(平成28年)4月14日以降

写真:内閣府「熊本地震保健士派遣記録」

大規模災害時の避難所状況



事例4)平成28年熊本地震(昼)
2016年(平成28年)4月14日以降

写真:内閣府「熊本地震保健士派遣記録」

大規模災害時の避難所状況

さらにアレンジ！

参加者の興味・関心に合う写真をセレクトするのがポイント！ /

以下のような写真を追加してみましょう。

- ① 自分もしくは近隣地域で起こった災害の写真
- ② 記憶に新しい災害の写真
- ③ コロナ禍の避難所（感染症対策対応）の写真

避難所では、大勢の方々が過ごすことや被災状況により、様々なことが起こります
避難所で起こる困りごとをイメージしてみましよう



こんなとき、どうする？

あなたが運営者の立場だったら、どうするか考えてみましょう！

【問い】1分

- 避難者の中の、赤ちゃんのお母さん達から、「授乳やおムツを替えたりしたいが、他の人に見えない場所を使わせてくれないか？」と相談されました。あなたはどうか対応しますか？

- A. 体育館の一部にスペースを作る
- B. 小さな部屋を使ってもらおう
- C. その他

**赤ちゃんを育てている家族が
「行きたくなる避難所」とは
どんな避難所でしょうか？**

ポジティブな問いを設定することで
笑顔のあるワークショップになり、
活発で前向きな議論が期待できます。

避難所の空間の確保

避難所利用者が生活する場所には、様々な空間が必要になります

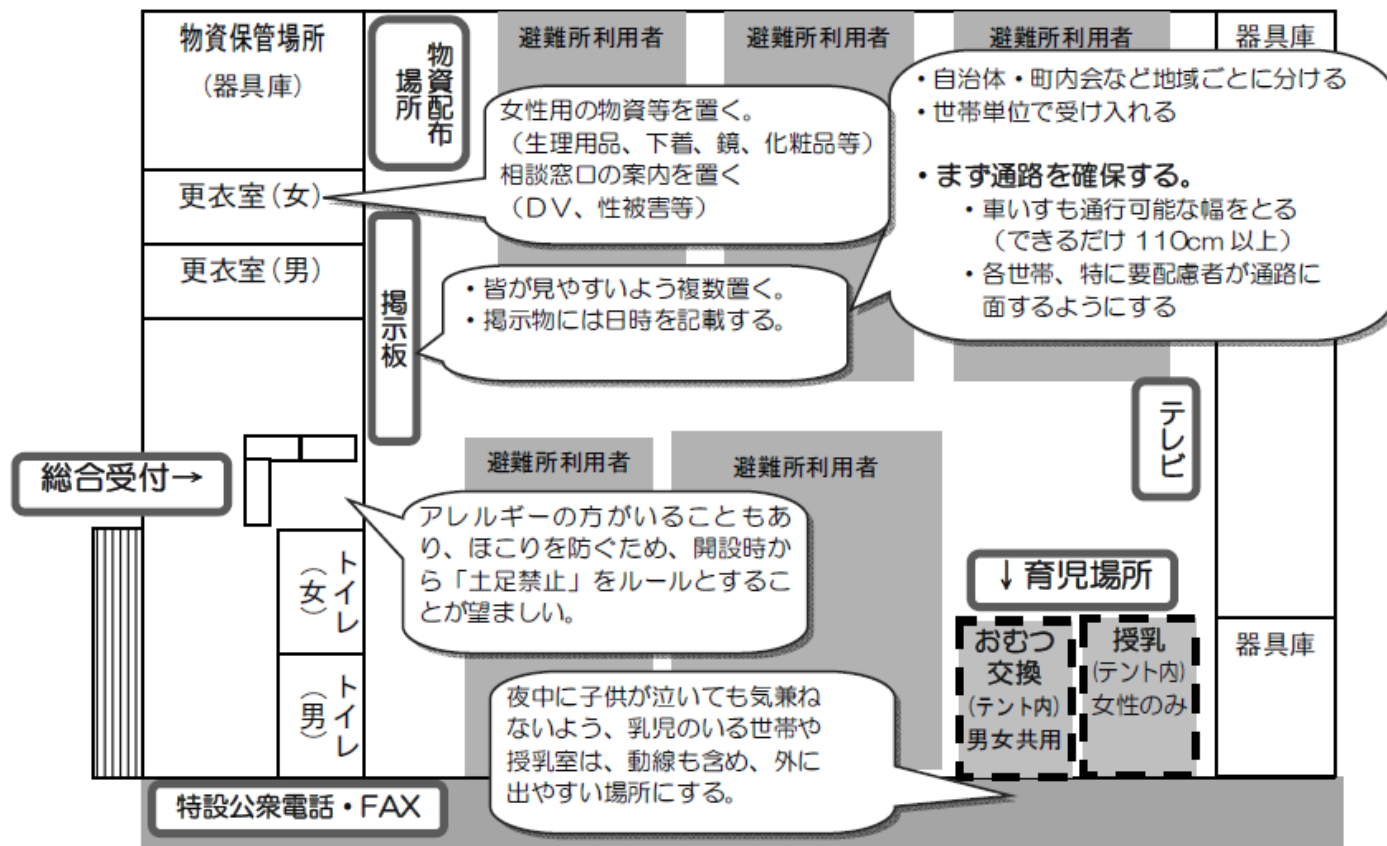


図. 避難所レイアウト例(避難所利用者が生活する場所)

避難所のレイアウトについては、実際にいくつかの自治体の資料や内閣府のガイドラインなどを見てもみることをおすすめします。

[参考サイト]

＼基本レイアウト／

- [東京都 避難所管理運営の指針 ダイジェスト版](#)
- [内閣府 平成28年度避難所における被災者支援に関する事例等報告書](#)

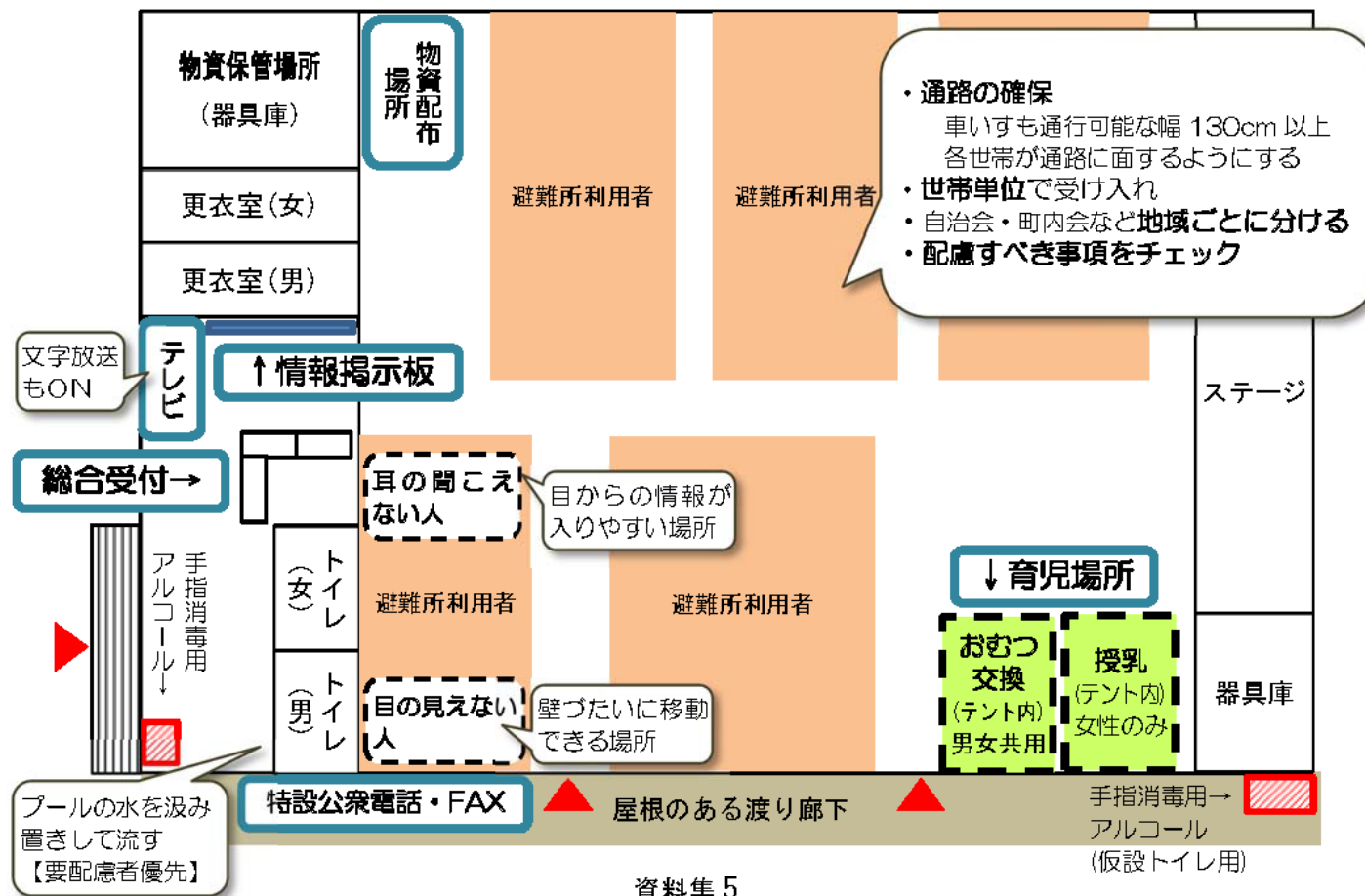
＼感染症対策下のレイアウト／

- [東京都 避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン](#)
- [内閣府 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイント](#)

避難所の空間の確保

〔要配慮者に対応したレイアウト例〕

・避難所利用者が生活する場所（体育館・屋内運動場）

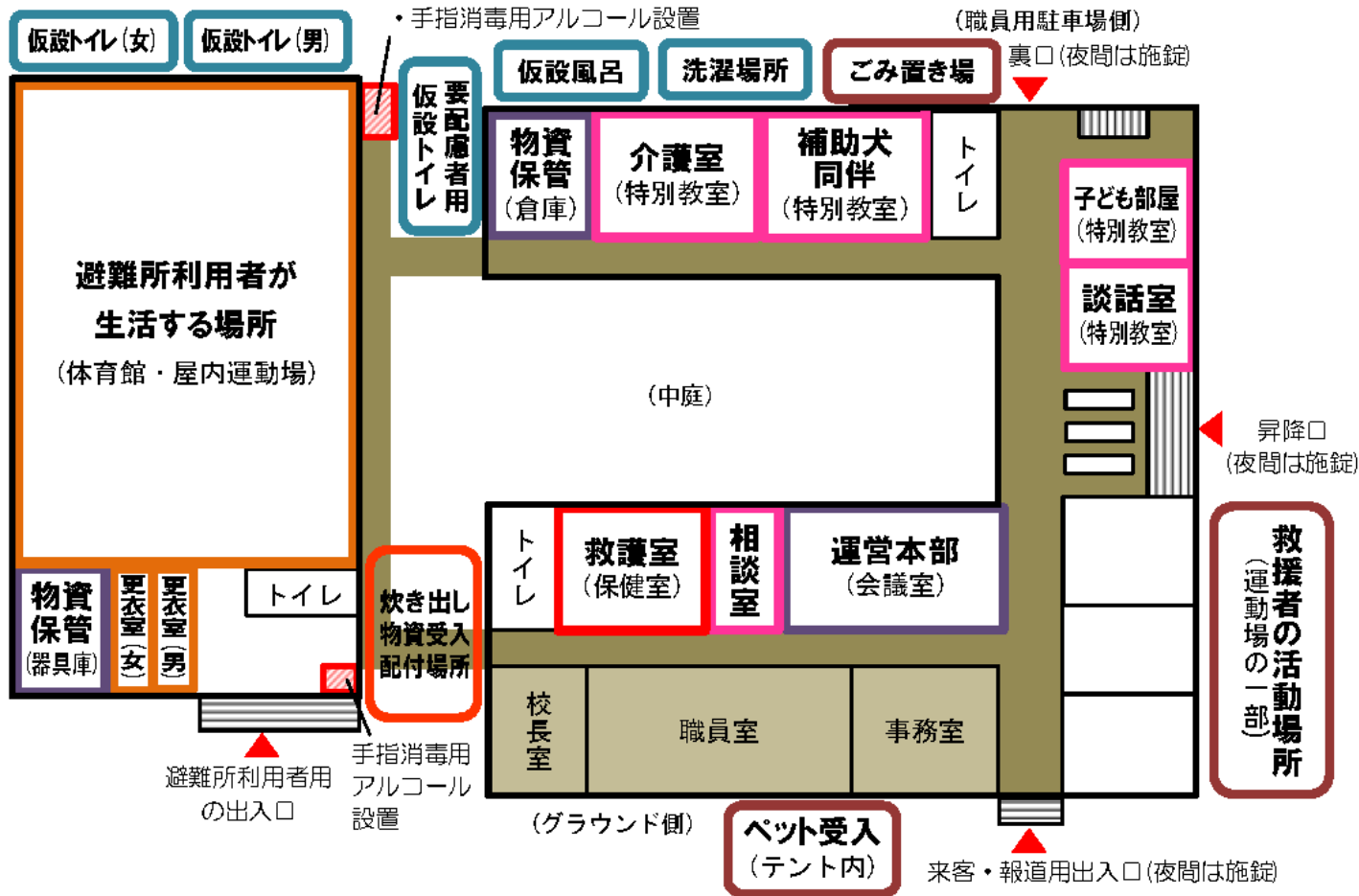


資料集 5

避難所の空間の確保

[要配慮者に対応したレイアウト例]

・全体図

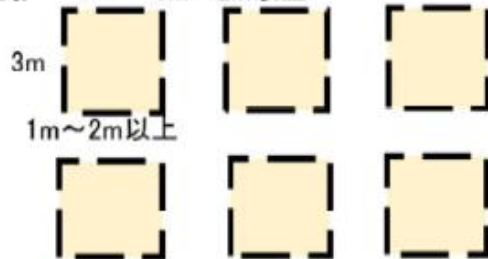


避難所の空間の確保

[感染症に対応した滞在スペース例]

テープ等による区画表示

(例) 3m 1m~2m以上



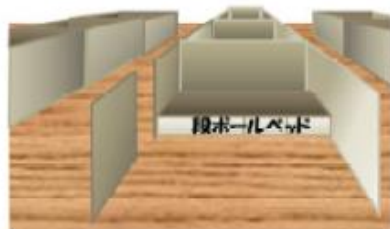
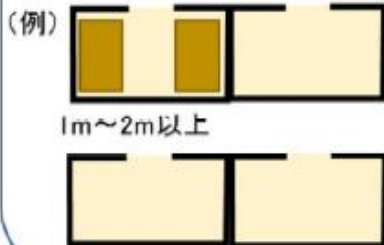
○一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する

○家族間の距離を1m以上あける

※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

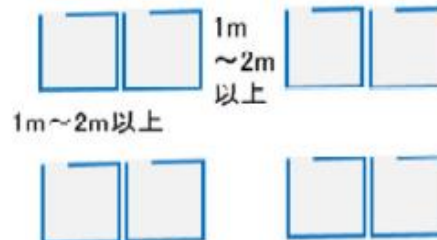
パーティションを利用した場合

○飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。



テントを利用した場合

(例)

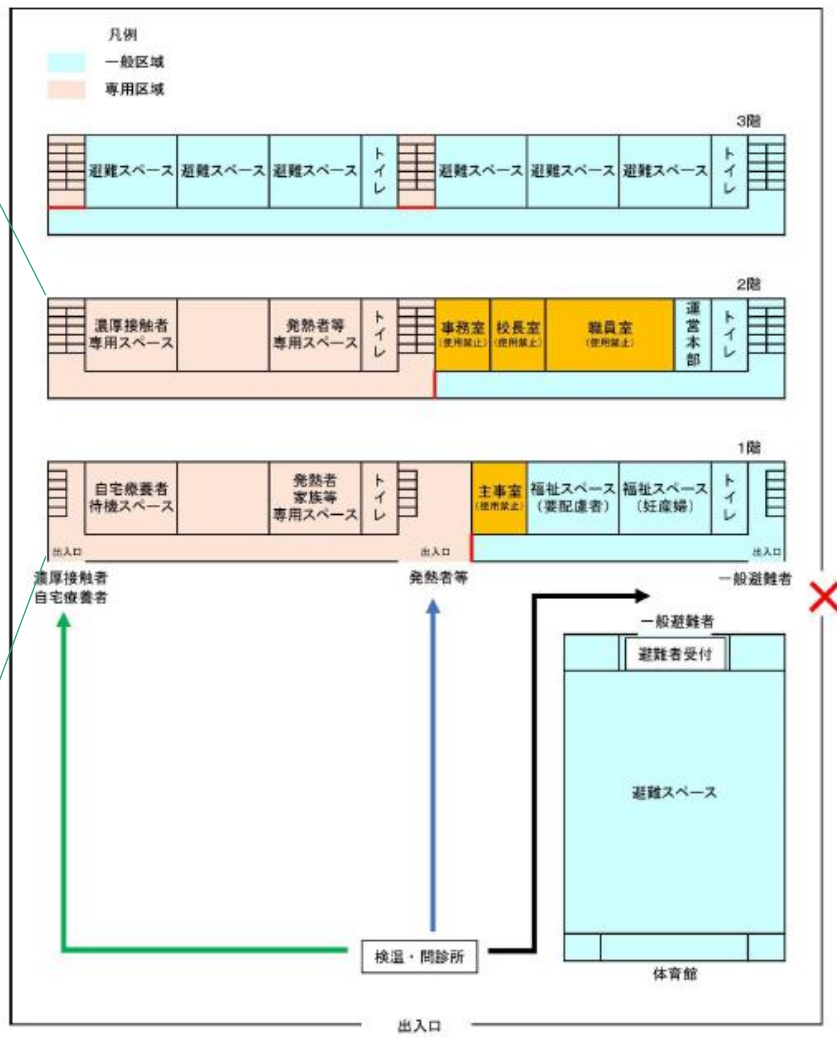
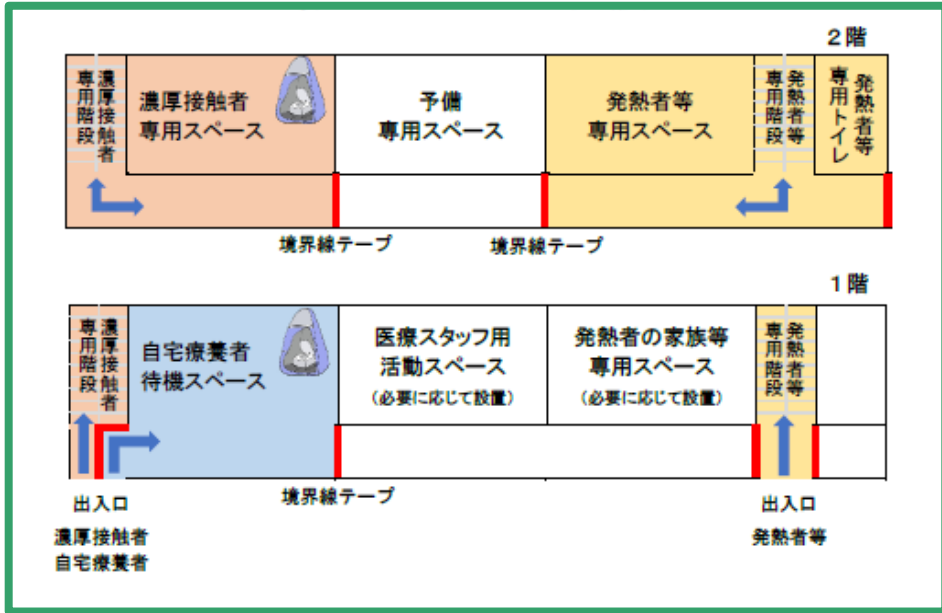


○テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。



避難所の空間の確保

[感染症に対応したゾーニング例]





こんなとき、どうする？

あなたが運営者の立場だったら、どうするか考えてみましょう！

【問い】1分

- 避難所には、耳や目が不自由な方など、様々な方がこられる可能性があります。そのような方には支援が必要ですが、外見だけで分からないことも多く、どのようなことに困るのかも様々です。どのように把握したらいいのでしょうか？

- A. 一人ずつ聞く
- B. 自己申告してもらう
- C. その他

耳や目が不自由な人が
「行きたくなる避難所」とは
どんな避難所でしょうか？

ポジティブな問いを設定することで
笑顔のあるワークショップになり、
活発で前向きな議論が期待できます。

避難者名簿の作成

避難生活開始後、世帯ごとに詳細な名簿を作成しましょう

避難者名簿の活用

- どのような人が避難しているか把握し、**避難者の特性に応じた支援を実施**するために活用
- 避難者の人数や状況を把握して、**物資等(水・食料・生活必需品等)**を配布する
- 避難者の職能や特技等を把握して、**避難所運営に積極的に協力**してもらう人を確保する

ポイント

- きめ細やかな支援を実現するため、**名簿にはできるだけ細かく記載**してもらおう（氏名、生年月日、性別、住所、支援の必要性の有無等（健康状態、保育・介護の要否など）、職能・特技など）
- **個人情報のため、情報管理を徹底**する
- 受け入れ時は、代表者氏名や人数、配慮が必要かなどを把握する

避難者名簿の項目例

避難者名簿の活用を踏まえ、あらかじめ避難名簿の様式を整えておきましょう

避難者名簿の項目例

入所年月日	自宅の被害状況
氏名(世帯主、家族)	特に配慮が必要なこと
年齢(世帯主、家族)	運営に協力できること (特技・免許等)
性別(世帯主、家族)	安否確認への対応 (公開・非公開)
住所	自家用車の駐車の有無 (自家用車の情報)
電話番号	ペットの状況(同伴希望等)

避難者名簿の項目例

■避難者シート 【受付番号】

記入年月日	年 月 日	避難所名	
住 所	〒 -	電話番号	
		携帯電話番号	
		メールアドレス	
		その他連絡先 (親戚等)	
家屋の被害 状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部壊壊 <input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> 床下浸水 <input type="checkbox"/> 流出 <input type="checkbox"/> 断水 <input type="checkbox"/> 停電 <input type="checkbox"/> ガス停止 【居住の可否】 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	避難形態	<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> テント <input type="checkbox"/> 車中 <input type="checkbox"/> その他()
	自家用車	車種: 色: ナンバー:	

【ご家族情報】

氏名(ふりがな)	年齢	性別	特に配慮が必要なこと (妊産婦、障がい、アレルギー、服薬など)	安否確認 への対応
世帯主 ふりがな				<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
同居家族 ふりがな				<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
				<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
				<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
				<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
				<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
				<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開

避難所運営に協力できること 有 無

ペットの同伴 有 無 種類: 頭数:

※このカードは、家族ごとに記入して「総合受付」に提出してください。
 ※ご記入いただいた情報は、災害対策本部や避難所運営と支援（食料や物資の配給や健康管理など）のために最低限必要な範囲で共有します。
 ※安否確認の問合せがあった場合に、住所・氏名等を公開してもよいか、個人ごとに必ず確認してください。

11

受付での混雑・密集を避けるため、「避難者カード」や「健康チェックリスト」を自治体のホームページに掲載するなど、住民が事前に入手できるようにし、事前記入したものを避難所に持ってきてもらうよう促すことも一案です。

避難生活上のルールの設定と周知

知らない方と共同生活を送るためには、ルールを設けて
共通認識を持つことが大切です

避難所生活に必要なルール(例)

● **避難所全体共通**のルール記載項目(例)

避難所の運営主体／避難者名簿登録／土足の可否／部屋の使用可否／食料配布／喫煙等

● **共同生活上**のルール(例)

生活時間(起床・消灯・食事・放送等)／清掃／洗濯／ごみ処理／プライバシーの保護 等

● **その他必要とされるルール(例)**

トイレの使用(使用時・清掃時)／火気使用／夜間の警備体制について／ペットの飼育 等

※人間関係づくりの必要性

避難生活の心身の健康には人間関係づくりも必要です。人と人のつながりが強い方と比較して、つながりが弱い方は、睡眠障害及び心理的苦痛のリスクが約5倍高くなる可能性が示唆されている

避難生活上のルールの設定と周知

生活ルールの一例（熊本地震で使用）

- 照明の点灯 6：00、ラジオ体操 6：30、消灯 22：00
- 朝食 7：00、昼食 12：00、夕食 17：00（食事の配布は世帯単位で行います）
- 住空間は、可能な限り世帯ごとで区切って使用します
- 居住空間や他世帯スペースには無断で立ち入らないでください。また、みだりに立ち入ったり覗いたりしないでください
- 貴重品は自己管理を行ってください
- アルコール（お酒）持込禁止、喫煙は屋外の指定喫煙場所で！
- 携帯電話での通話は周囲の迷惑にならないよう配慮し、消灯後にはマナーモードとし、居住空間での通話は控えてください
- 入所時、退所時、外泊時は必ず手続きをしてください
- 来客の面会は、原則として共有空間や屋外とします
- 感染症予防のため、食事前やトイレ後は必ず流水での手洗い、アルコール消毒液の手指へ擦り込みを行い、うがいや歯磨き、体を拭くなど清潔に努めてください
- 世帯スペースは、原則として各世帯が責任を持って清掃します
- 共用部分はみんなで清掃！
- ゴミは分別し、指定場所に！
- 避難世帯のごみは、世帯で責任を持ってごみ集積場に捨てます
- 避難所内でトラブルが生じた場合は、代表者または総務班に相談してください

感染予防にご協力をお願いします

入室時はここで
手指消毒をしましょう



参考：東京都 避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

避難所生活上の課題の発生

避難所は様々な人達との集団生活のため、色々な課題が発生し、その対応が必要となります

共通の課題

- **生活空間に制限**が生じる
プライバシーの確保が難しい、ライフライン(トイレ・浴室など)が使えないなど
- **衛生環境が著しく悪化**する
トイレ環境の悪化、清掃が行き届かないなど
- **健康問題**が生じる
エコノミークラス症候群、生活不活発病、感染症など
- **個別対応に限界**がある
配慮が必要な方への対応、ペットへの対応など
- **女性・くらし目線の配慮**が行き届かない
女性特有に配慮すべきことへの対応、性別固定役割、DV被害など

日頃から課題への対応を考えておきましょう。地域の状況を踏まえて、必要な取り決めを作るなどの取組みを進めましょう。

避難所生活上の課題の発生

ルールや課題については、内閣府のガイドラインや実例報告書が参考になります。

＼概要をつかむ／

- [内閣府 避難所運営ガイドライン](#)
- [東京都 避難所管理運営の指針\(平成30年3月版\)](#)

＼避難所の感染症対策／

- [内閣府 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイント](#)
- [内閣府 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練ガイドライン\(第3版\)](#)

＼実例と教訓が豊富／

- [内閣府 平成28年度避難所における被災者支援に関する事例等報告書](#)

＼事例や最新情報をつかむ／

- [内閣府 避難所の生活環境対策のページ](#)

自主防災組織等のリーダー育成研修

避難所の運営を円滑に進めるには

要配慮者への支援と
災害ボランティアの受入

1. 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制

要配慮者の方が
避難生活において
どんなことに困るのか
考えてみましょう

車いすの避難者への対応

避難所で困ること

- 避難所内の移動やトイレが難しい場合がある
- 床面に座ることが難しい場合がある
- 脊髄を損傷している人は、感覚が無い上に体温調節が難しい場合がある

対応方法と連携・協力先(例)

- 居住スペースの通路側にスペースを確保し、移動距離を短くする
- トイレなどの介助は、未経験者や力が十分でない人が行くと事故につながる恐れがあるため、家族や経験者の協力を得ることが重要
- 避難生活が長期化する場合、福祉避難所への移送やホームヘルパー、介護福祉士、介護支援専門員などと連携・協力する

乳幼児を持つ保護者への対応

避難所で困ること

- **プライバシーを守れる**場所が必要(授乳室、おむつ交換室)
- **哺乳瓶の消毒**が困難な場合がある
- 乳児のための**必需品不足**(粉ミルク、おむつ、おしりふきなど)

対応方法と連携・協力先(例)

- 授乳スペースやおむつ交換スペース等を確保する
- 哺乳瓶の煮沸消毒や薬液消毒ができないときは、使い捨ての紙コップなどを活用して少しずつ飲ませる(硬水は避ける)
- おむつが無い場合は、タオルを代用する
- 避難生活が長期化する場合、医療機関関係者、保健師、保育士などと連携・協力する

日本語が話せない外国人への対応

避難所で困ること

- 言葉の壁で情報が得られないため、ルールの理解など**意思疎通が難しい**
- **宗教や習慣の違い**で誤解が生じることがある

対応方法と連携・協力先(例)

- スマートフォンなどの**翻訳機能**を活用する
- やさしい日本語やボディランゲージを活用し**情報提供**する
- 看板や張り紙はイラストや図を中心に**分かりやすく表示**する
- 宗教上食べられない食材などを本人に**確認**して対応する
- 通訳ができる方(避難者、ボランティアなど)や日本語が理解できる外国人の避難者などと**協力・連携**する

視覚障がい者の避難者への対応

避難所で困ること

- 視覚による状況判断ができない為、避難所内での各所への移動が困難
- 掲示物や案内板などから情報収集することができない

対応方法と連携・協力先(例)

- 壁伝いにトイレなどに行くことができるような居住スペースの確保
- 順路に手すりなどを設け、移動経路上に障害物を置かない
- 放送等による情報伝達
- 驚かせることのないよう、正面から話しかける配慮
- 点字タイプライターの手配
- パソコンなどで読上機能を使えるように資料のテキスト形式データを用意

聴覚障がい者の避難者への対応

避難所で困ること

- 音声による情報が伝わらない
- 外見からは障害があることが分からない
- コミュニケーションがとりづらい為、ストレスを抱えやすい

対応方法と連携・協力先(例)

- 手話通訳者などの確保
- 必要な情報は、リーフレットなどの印刷物や書き物によって伝達
- 積極的なコミュニケーションをとるよう配慮する
- 支援者の識別表示(帽子・ジャンバー等)を用意
- 「手話通訳・要約筆記が必要な人はいますか」などの張り紙を用意

過去の災害の報告書などに現場での声と対策がまとまっています。それらを参考に、平時から要配慮者に対する対応や備えを検討しておきましょう。

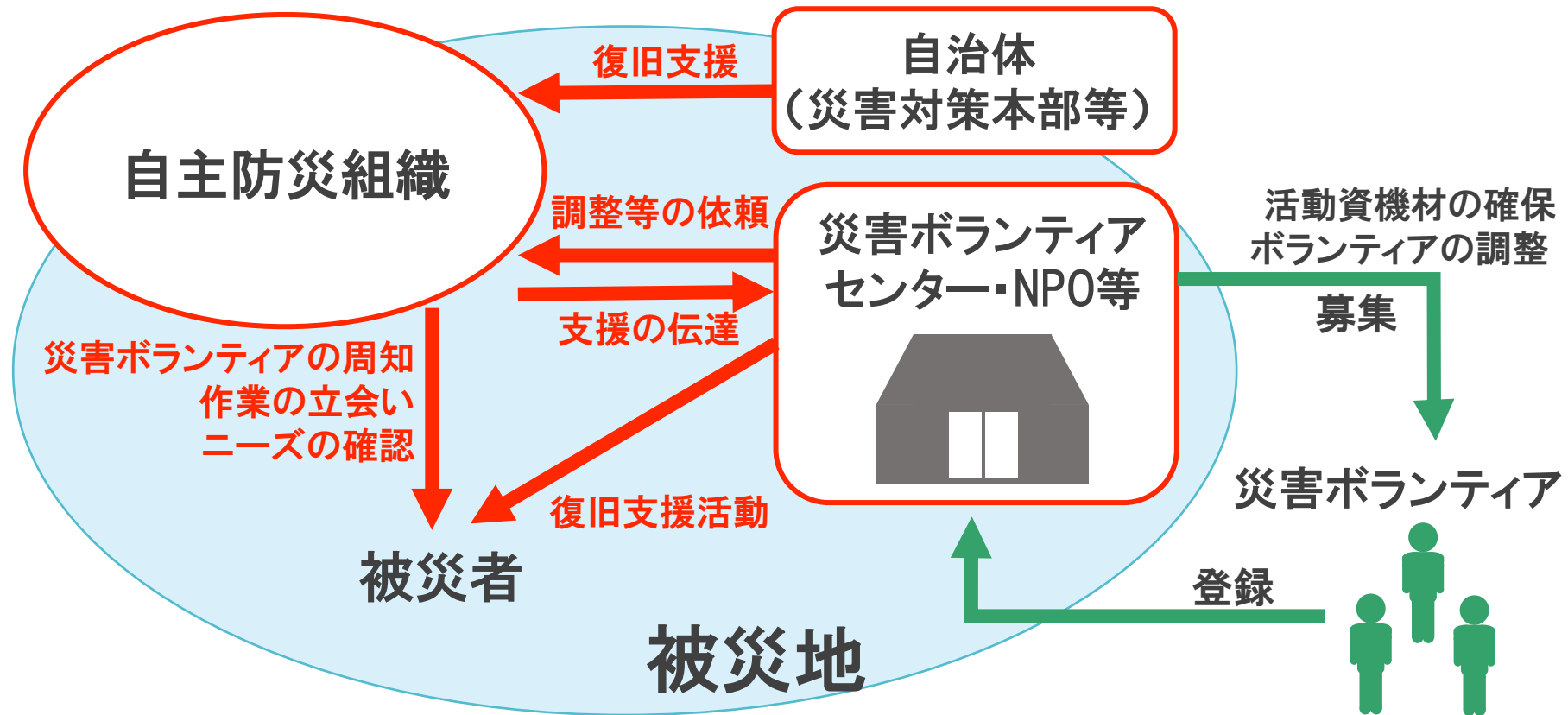
＼参考資料のひとつ／

- [内閣府 平成28年度避難所における被災者支援に関する事例等報告書](#)

2. 災害ボランティアの受入、被災地への応援協力

ボランティアを受け入れる

時間の経過とともに支援のニーズが変わることを把握して、必要なボランティアを受け入れ、避難所運営や地域の復旧活動に協力してもらいましょう



自治体主催の防災訓練は、地域の社協やNPO、企業などと事前にネットワークをつくる貴重な機会です。多様な団体を積極的に巻き込みましょう。

＼参考資料／

- [内閣府 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練事例集](#)
- [内閣府 避難所における新型コロナウイルス感染症対策等の取組事例集](#)

**本教材を利用し、
秋田県ならではの
魅力的な研修プログラムを
考案いただければ幸いです。**